

イーコトブックス

アップサイクル・ノート -今ある布を大切に使いまわす-

アップサイクルという、使わなくなったものに手を加えて元よりも価値を高める考えを取り入れ、元よりもかわいい、欲しくなる、使いたくなるものに生まれ変わらせるアイデアと作品を掲載。手作りだからこそ作る楽しさやワクワク感もあります。おしゃれ上手と今ある布を生かすことが楽しめる内容です。



お知らせ

臨海3Rステーションでは、環境に関する書籍の貸し出しを行っています。詳しくは、事務局スタッフまでお尋ねください。

【著者/編集】グラフィック社編集部 【出版社】グラフィック社
【ISBN】9784766136609 【定価】1,760円

リンカイプラス

「フードドライブ」受付中

臨海3Rステーションでは、まだ食べられる食品の活用の場として「フードドライブ」を実施しています。
対象となる食品は、未使用・未開封・賞味期限まで1ヶ月以上・常温保存可能なものをお願いしております。お持ちいただいた食品は、フードバンクを通じて福祉施設や子ども食堂などに届けられます。



リンカイからののお知らせ — 無料体験プログラム

臨海3Rステーションでは、毎月メニューが変わる3R推進のための無料体験プログラムを実施しています。全プログラム30分程度の所要時間となっており、講座と違って予約なしで気軽に参加できるようになっています。季節に合わせてプログラムを変更していますので、是非ご参加ください。



主なプログラム

- ①紙すきハガキ作り ②つまみ細工 ③ゴッドアイ作り
- ④まる織り ⑤ミニしめ縄作り ⑥木のネームプレート作り

- 🕒 10:00~15:30(受付15:00まで) 🆓 無料
- 👥 団体希望は、体験日の2週間前に連絡。

臨海3Rステーションの講座・イベント情報はここから 青号と赤号を交互に発行!

臨海3Rステーションでは、身近なエコに関する講座やイベントを紹介する「RINKAI NEWS」を毎月発行しています。プリントでの配布の他、公式WEBサイトでも公開しています。ぜひチェックしてみてください!

RINKAI NEWS

最新号はこちらから!



福岡市 Fukuoka City Seaside 3R Station 臨海3Rステーション



〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭4丁目13番42号

《WEB》 <https://rinkai3r-station.com/>

《TEL》 092-642-4641 《FAX》 092-642-4598

《休館日》 月曜日(祝日の場合は次の平日)、年末年始

《開館時間》 10:00~17:00

《アクセス》 ●地下鉄「貝塚」駅より徒歩約20分

●西鉄バス「リサイクルプラザ前」より徒歩約1分

●西鉄バス「高須磨町」より徒歩約10分



身近な暮らしから「環境」について考える

ECOT

イーコト

これってあの素材からできてるの!?

08

2023. 春号
spring

その先の可能性へ
リユース、リサイクルの

アップサイクルって?

アップサイクルとは、創造的再利用とも呼ばれ、廃棄物や副産物、役に立たない不要な製品などを、より良い品質と環境価値の新しい材料や製品にアップグレードさせて、社会に役立つプロセスです。別の製品として生まれ変わること素材の寿命を引き延ばし、リサイクルよりサステナブルであると言われています。

アップサイクル(Up cycle)とは、要らなくなったものや廃棄物などに付加価値を付けることで、よりよい製品にして再利用することです。例えば、車のエアバッグを再利用したレジャーシート、端材を利用した木製の腕時計など、さまざまなアップサイクル製品の実例があります。有名なアパレルブランドが、アップサイクル素材を利用して製品づくりをするなど、世界的にトレンドとなっている手法です。アップサイクルの特徴としては、以下のとおり、元々の製品や素材の特徴を活かして再利用することなどが挙げられます。今回のイーコトでは、アップサイクルの仕組み・注目の理由・メリットといった、押さえておきたい基礎知識をまとめてご紹介します。

● アップサイクルのはじまり

アップサイクルの始まりは、1994年10月11日。レイナー・ビルツがドイツメディア Salvo News に向けてアップサイクルとダウンサイクルについて語ったことだと言われています。しかし、それ以前も人はごく当然にアップサイクルを行っていました。例えば日本では古く鎌倉時代から人糞を発酵させ肥料に変えることで有機物として取引を行っていました。産業革命以降、「効率性」と「規模」が追求されるようになり、新品素材を使って行う大量生産が当たり前の時代に突入し、「使い捨て」文化が定着したのです。

● アップサイクルとSDGsの関係

これまで私たちは、大量生産・大量消費の経済システムに身を置いてきました。しかし世界の人口が増加し、限られた地球の資源は枯渇しつつあります。これがSDGs目標の12の「つくる責任つかう責任」が掲げられた大きな所以です。

また、SDGs目標の解決に取り組むことは、他の目標の解決にもつながり、持続可能な社会の実現に大きく貢献することができます。

もちろん、SDGs目標の達成にむけて、リサイクルという取り組みも大事なことです。環境省によるとここ10年リサイクル率は2割から伸びておらず、廃棄物減量を進めるためには、新しい手法が必要となってきており、アップサイクルへの注目が集まっているのです。



- 12.2 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する
- 12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する
- 12.8 2030年までに、あらゆる場所の人々が持続可能な開発および自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようになる

● アップサイクルから目標までの流れ



TOPICS リデュース、リユース、リサイクル、アップサイクルの違い

アップサイクルは、「リユース」や「リサイクル」とは異なります。これまでのリサイクルのように「原料」に戻すのではなく、元の製品の面白さを残し「素材」をそのまま活かす手法です。

リサイクルでは原料に戻したり、素材に分解したりする際にエネルギーが使用されるのに対し、アップサイクルではそのままの形をなるべく生かすため、地球への負荷を抑えることができます。

また、アップサイクルは、別の製品として生まれ変わらせることで、寿命を長く引き延ばすことができます。そのため、リサイクルよりもサステナブルであると考えられています。

- リデュース (reduce)**
廃棄物の発生量を減らすための取り組みや行動のこと
- リユース (reuse)**
使わなくなったものを加工せず、そのまま再利用すること
- リサイクル (recycle)**
不用品や廃棄物を資源やエネルギーの状態に加工して再利用すること
- アップサイクル (upcycle)**
捨てられるものに付加価値を加え、新たな製品に生まれ変わらせること



新しいアイデアで、価値あるものへ

● 企業の参入と消費者意識

近年、環境、社会、ガバナンスに関わるさまざまな問題を解決しながら、持続可能な経済成長を目指すESG経営が広まっており、アップサイクルによる製品を展開することは、環境負荷を考慮した持続可能なモノづくりを行っていることの表れとなることもあり、企業による取組みが活発化しています。株式会社スナックミーによる調査によると、「アップサイクルという言葉の意味を知っていますか」という質問に対して、「聞いたこともない」と答えた人は62.9%、「聞いたことはあるが意味は知らない」と答えた人は19.7%、「意味を知っている」と答えた人は17.4%で、この1年で「意味を知っている」の回答が9%も上昇し、約2倍に増えており、少しずつアップサイクルの概念が定着してきたと言えます。

SDGsをはじめとした持続可能な社会への意識が高まり、限りある資源を使い捨てる時代から、使い続けることができる素材を生産・消費する時代へとシフトしています。いまだに企業の生産現場ではおび

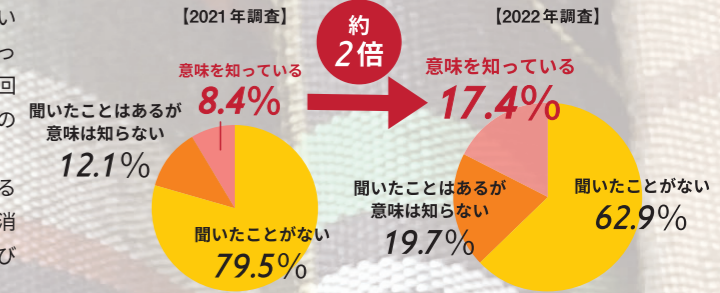
● 臨海3Rステーションでのアップサイクル

臨海3Rステーションでも、様々なアップサイクル講座を実施しています。傘の素材などを再利用したエプロンやエコバッグの作成、食品残渣からの堆肥づくり+菜園づくり、伝統的な日本文化である裂き織りやまる織りなど使わなくなった布からの織物などの講座です。

昨年度より実施している(簡易)金継ぎは、割れた器を装飾して再利用する日本独特の美意識やデザイン感覚が現れたもので、伝統文化的アップサイクルの取組みとして、人気の講座です。

ただしい量の廃棄が発生する現実がありますが「捨ててしまえばただのごみでも、新しいアイデアで価値あるものに」というアップサイクルの発想の広まりは、エシカル消費やサステナブルな循環の実現など、消費の好循環を生み出すきっかけとなりそうです。

アップサイクルという言葉の意味を知っていますか



講座の情報は、臨海3Rステーションのホームページなどで情報をチェックしてお申し込みください。

あなたの新しいアイデアで、この世に一つしかない価値あるものづくりが楽しめると思います。



暮らしのアップサイクル

暮らしの中で、何かアップサイクルできないかを考えていた時に、お気に入りの洋服が汚れてしまう事態が発生。到底外には着ていけないレベルなのでリユースにも回せない、愛着もあり捨てに捨てれず...

何かいい方法はないか探しているときに、古着からコースター作りができたことを知りました。ズボラで不器用な私で不安もありましたが、布を細く切って、三つ編みにして軽く縫うだけだったので簡単にできました。思い入れのある品を捨てることもなく、お家でもカフェタイムも華やかになり、手作りならではの色や形もお気に入りのポイントです。

自分にできるかなと思っていただけど、意外とやってみるとハマってみたい。難しく考えずに、気軽にアイデアを膨らませたり、ものを大事にしたい気持ちがアップサイクルにつながるのかもしれない。

明日からできる Activity



01 イーコト GOMITAIJI



アップサイクルに取り組む企業の課題を解決する、一般社団法人GOMITAIJI。東京だけでも年間に約1億5千本、飲食店から排出されるコルク栓をReコルクウッドパネルとして蘇らせました。GOMITAIJIは、これまで捨てられてきた廃棄物が、アップサイクルにより姿を変えた製品として世の中に戻る、というサイクルを広め、「改(あらた)な価値」への驚きと気づきを与えようとしています。アップサイクル製品の企画・開発にとどまらず、セミナーや研修などの開催も行っている法人です。



02 イーコト スナックミー



テクノロジーを使って新しいおやつ体験をデザインするスナックミー。棄てられてしまっていた素材を、もっとおいしく、もっと楽しく味わってもらえるように生まれ変わらせたいという思いで、食材をおやつに加工することで「アップサイクル」の取組みを続けています。2021年には福岡県豪雨災害で廃棄された規格外ぶどうを買い取り、グレープケーキにアップサイクルしました。

